

立命館大学
びわこ・くさつキャンパス

地域連携事例集

2019.4
～
2020.3

Case File of Regional Collaboration
at Biwako-Kusatsu Campus, Ritsumeikan University





ジュニアスポーツフェスティバルKUSATSU

【本学担当】

スポーツ健康科学部、BKC学生オフィス、スポーツ強化オフィス、BKC地域連携課、学生団体

【主な連携先】

草津市教育委員会

【活動期間】

2011年度から現在

【主な活動地域・場所】

BKC

活動内容

ジュニアスポーツフェスティバルKUSATSUはBKCクインスタジアムで毎年10月に開催されています。本企画は草津市教育委員会が主催となり「スポーツを通じて、すべての子どもに感動を」をコンセプトに草津市内全小学校の6年生の児童、総勢約1,300人がBKCクインスタジアムに集まります。

学級対抗種目として「長縄8の字跳び」、選手種目として「4×100mリレー」が実施されるほか、「チャレンジわくわくタイム」と題して本学の体育会学生団体が児童にそれぞれ自身の部活動を体験できる体験型ブースが設けられます。

以下の団体が児童に日頃の活動内容を紹介しました。

- アルティメットサークル Ludolph
- 体育会ラクロス部（女子）
- 体育会ラクロス部（男子）
- 体育会ラグビー部
- 体育会男子陸上競技部
- 体育会女子陸上競技部
- バントワリング部

これまでの成果

草津市内の全ての小学校6年生が集まる本企画は参加する児童にとっては他校の児童と接する貴重な機会であり、ラクロス等初めて体験する競技も含まれておりスポーツの祭典のような位置づけとして地域に定着しつつあります。参加する児童は本企画を心待ちにしており、当日は各種目や大学クラブのスポーツ体験に積極的に参加する姿が見受けられます。

また、小学校の頃からスポーツを身近に感じることで、生涯にわたってスポーツに取り組む習慣を醸成する重要な機会となっています。

今後の課題・目標

本企画では、体力の向上と運動を親しむ資質・能力を育むことももちろんのこと、児童のスポーツに対する志を高め、運動の素晴らしさを実感することも目的の一つとして掲げています。参加する学生も、日頃自分達が研鑽に励んでいる競技種目を児童に教えることにより、改めてスポーツに対する自分自身の姿勢をみつめなおすよい機会となっています。



ラグビー体験の様子



男子陸上競技部の指導の様子



アルティメット体験の様子



ラクロス部の指導の様子



伴走の様子



フラッグフットボールを通じた交流

本学担当

体育会アメリカンフットボール部

主な連携先

草津リトルパンサーズ

活動期間

2010年度以前から
現在

主な活動地域・場所

BKCグリーンフィールド

活動内容

アメリカンフットボール部では、草津市のフラッグフットボールチーム草津リトルパンサーズや地域の小中学校との交流、技術指導を行っています。アメリカンフットボールは、その他球技に比べるとマイナーなスポーツです。普段、フットボールに触れることのない小中学生にフラッグフットボールを体験してもらうことにより、楽しんでもらいながらフットボールを知ってもらい、競技人口の裾野を広げることを目的としています。また、大学のアメリカンフットボール部の試合応援にも参加頂き、大学生選手の活躍を見てもらうことにより、アメリカンフットボールの醍醐味も体験してもらうことができます。

これまでの成果

草津リトルパンサーズとアメリカンフットボール部は創立時より交流を続けています。活動においては、教える相手が小さい子供達ということもあり、できるだけわかりやすい指導を心掛け、ルールを簡単にするなど初めて体験する児童も親しみやすいように工夫を行っています。それによって、運動が苦手な子でも楽しんでもらうことができます。

また、取り組みによってPANTHERSの存在を知ってもらい、アメリカンフットボールというスポーツに興味を持ってもらうきっかけとなっています。

部員にとってもスポーツを楽しむという純粋な気持ちを思い出し、どうしたら相手に分かりやすく伝えることができるか、といったことを考えながら取り組む機会となっています。

今後の課題・目標

1998年度から20年にわたり継続してきたフラッグフットボールチームの指導ですが、地域に根差した活動として定着し、アメリカンフットボールの競技人口の裾野を広げることに寄与しているといえます。これからも活動を通じ地域の方々から応援して頂き、また、地域をますます明るく元気にしていけるようなクラブを目指したいと思っています。



フラッグフットボールの様子 (1)



フラッグフットボールの様子 (2)



フラッグフットボールの様子 (3)



フラッグフットボールの様子 (4)

センター・オブ・イノベーション (COI) プログラム



本学担当

研究部 BKCリサーチオフィス
URA (リサーチ・アドミニストレーター)
山田 涼馬

主な連携先

オムロンヘルスケア(株)、東洋紡(株)、パナソニック(株)、
大和ハウス工業(株)、(株) 東大阪スタジアム、(株) ウェル
ネスメディカル研究所、(株) ニッピ、花王(株)、東急不動産
(株)、東郷町施設サービス(株)、順天堂大学、滋賀医科大学

活動期間

2013年度から現在

主な活動地域・場所

BKC、大阪いばらきキャ
ンパス、順天堂大学、草津
市、大阪府、千葉県

活動内容

本プログラムは、運動の生活カルチャー化を目的に「運動したくなるような先端技術の研究開発および事業化」を目指す、産学連携型の研究開発拠点事業です。立命館大学、順天堂大学、企業10社が、2021年までに革新的な技術の事業化を目指しています。

具体的には、空間価値を変える新しいスポーツ健康技術（スマートウェア技術、空間シェアリング技術、運動誘導／継続技術）と、病気や加齢に伴い移動能力が低下する「ロコモティブシンドローム」の見える化と予防法の開発を行っています。「運動」を媒介に「スポーツ・運動」と「医療」の両側面から健康を維持・増進し、全ての人々をアクティブな状態へ誘導したり、人々の時間と空間を共有して「日本の誇るべき絆社会」を実現するために日々取り組んでいます。



サイクリングイベント

これまでの成果

COIに参画している岡田志麻 准教授のバイタルデータのセンシングを運動誘導につなげる技術は、大阪府の「うめきた2期」構想と非常に親和性が高く、導入が期待されます。2019年11月に大阪府主催のサイクリングイベントにて実施し、12月に同じく大阪府にて開催された「イノベーションストリームKANSAI」にて報告を行いました。

同じくCOIに参画している橘由里香 助教は、学生によるCOI活動の実施に取り組んできました。9月と12月には北海道の町おこしワークショップ、10月には「滋賀のくすりと健康フェア」、11月には日本最大の科学コミュニケーションイベント「サイエンスアゴラ」、そして「エコプロ2019」にて、取り組みを紹介・実践しました。

今後の課題・目標

2021年のプログラム終了まで、残すところ2年となりました。参画企業との連携をますます強め、スマートウェア技術・空間シェアリング技術・運動誘導技術の事業化をスピーディーに推進します。製品・サービスとして、広くリーチすることを、必達の目標としています。



第65回草津市駅伝競走大会

本学担当

男子陸上競技部、
スポーツ強化オフィス、
BKC地域連携課

主な連携先

草津市駅伝競走大会実行委員会、
公益社団法人草津市スポーツ協会、
草津市教育委員会

活動期間

2010年度以前から
現在

主な活動地域・場所

BKC

活動内容

草津市駅伝競走大会は、びわこ・くさつキャンパス（BKC）の学内道路をコースにして1月～2月頃に開催されます。

本大会は、第1部が中学生の部、第2部が一般の部、第3部が小学生の部、そしてオープンで小学生以上の個人が参加できるミニマラソンの部の全4部で構成され、幅広い年齢層のランナーがエントリーすることができます。

第1部、2部とオープンはBKCの広い土地を生かしたコースとなっており、ランナーは学内道路を駆けながら襷をつないでいきます。第3部はクインスタジアムとその周辺道路をコースとして実施されますが、コースがコンパクトであることによりランナーと応援者の距離が近いのが特徴です。

これまでの成果

本大会の最大の特徴は、大学の構内で実施される駅伝大会、という点です。このことにより参加者はより気軽に参加をすることができます。会社の同僚や友人・知人のチームで参加される方も多く、メンバーで襷をつないでいくことにより、競技の楽しさに加えて、仲間でひとつのことを成し遂げた、という達成感を身近な場所で与えることができます。

また、本大会は草津市のボランティアの方々や本学の男子陸上競技部の部員が要員として参加し、運営を支えています。男子陸上競技部の部員は日頃の活動では自分自身が応援される立場ですが、当日は、要員としてランナーを後方から自転車で追従しコース整備に努める等、競技者を支える、という日頃とはまた違った経験をすることができます。

今後の課題・目標

本大会はコースが大学構内であることによりキャンパス内にたまたま居合わせた学生がランナーに声援を送るなど、普段の駅伝大会では見られない光景を垣間見ることができます。

本学では2016年度にBKCスポーツ健康コモンズを竣工し、誰でも、いつでも、スポーツに触れる環境整備に取り組んできました。これからも、草津市駅伝競走大会が地域の皆様に認知され、健康増進の一助となれるよう取り組みを続けていきたいと思ひます。



第一部のスタートの様子



構内を走る中学生ランナー



ユニフォームで走り抜けるスポーツ少年団の子どもたち



裏方を担う陸上競技部員の様子

長生きの秘訣！ 体力測定会 with 立命館相撲部 & バトン部！ 参加者募集中！



立命館大学バントフリング部



立命館大学相撲部

今のあなたの体力は平均？それともそれ以下？

- ★ 12:00～13:30 **体力測定**(アップ&ゴー・スクワット・閉眼片足立ち)
体力測定の後、学生と一緒に脳トレワークもできます
- ★ 13:45～14:00 **立命館大学・相撲部の実演**
- ★ 14:00～14:15 **立命館大学・バントフリング部の実演**
- ★ 14:30～15:00 **健康バンド**

どなたでも
ご覧いただけます

※2月頃に再度計測を行い、変化を見て頂きます

❗ 体力測定は事前の申し込みが必要です

❗ 相撲部・バトン部の実演はどなたでもご覧頂けます。

申込:ロクハ荘 まで TEL: 077-563-5021

11月25日(木)
参加費無料



ゲーム感覚の楽しさ

暗闇×映像×音楽を活用し
楽しみながら運動ができます

共感と継続

チームでゲームをクリアすることで参加者同士の
「共感」で無理なく継続が可能



コーディネーショントレーニングとは、
多種多様な運動を豊富なバリエーションで
取り組むことで神経系を刺激する
情報系のトレーニングです。それにより、
スムーズな身のこなしやボールのコントロールなど、
様々なスポーツの基盤となる運動能力
(コーディネーション能力)の向上を目指します。

スマートR バイク・ザ・ライド

親子で楽しむ!!
大学発プログラム
無料体験会

コーディネーション教室体験会

迫りくる恐竜から逃げ切るために必要なのは、参加者の心拍数!?

立命館大学で研究開発したスマートウェア技術を活用し、バイクをこいで恐竜をやっつけるフィットネスゲームです。ほかにも、さまざまな運動能力を引き出すコーディネーションプログラム体験もあります。

※コーディネーショントレーニングとは、多種多様な運動を豊富なバリエーションで取り組むことで神経系を刺激する情報系のトレーニングです。それにより、スムーズな身のこなしやボールのコントロールなど、様々なスポーツの基盤となる運動能力(コーディネーション能力)の向上を目指します。



2/23水曜日 祝 10:00~15:00

※コーディネーションプログラム体験は上記時間内随時可能

参加方法 当日受付順
(1ゲーム約20分・5人同時参加可能)

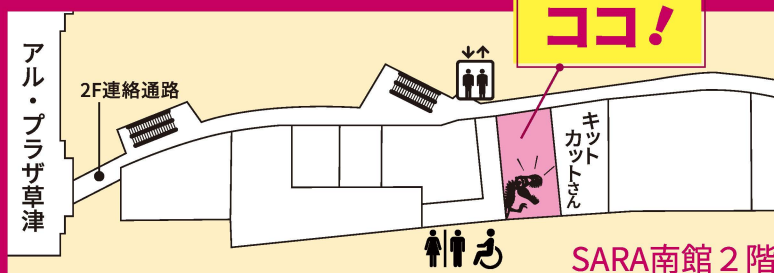
場所 ショッピングセンター エイスクエア
SARA南館2階



WHAT IS SMART WEAR?

スマートウェア技術って何?

立命館大学 スポーツ健康科学部の塩澤教授が
東洋紡と共同で研究開発したウェア。
着るだけで心拍数等の生体情報がリアルタイムで
計測できるため新たなエクササイズの楽しみ方が
期待されています。



共催：立命館大学・HOS株式会社・草津市
協力：エイスクエア

令和３年度「大学のスポーツ資源を活用した地域活性化拠点形成・
大学スポーツアドミニストレーター配置支援事業」成果報告書

2022 年 3 月 18 日

立命館大学スポーツ強化センター 作成